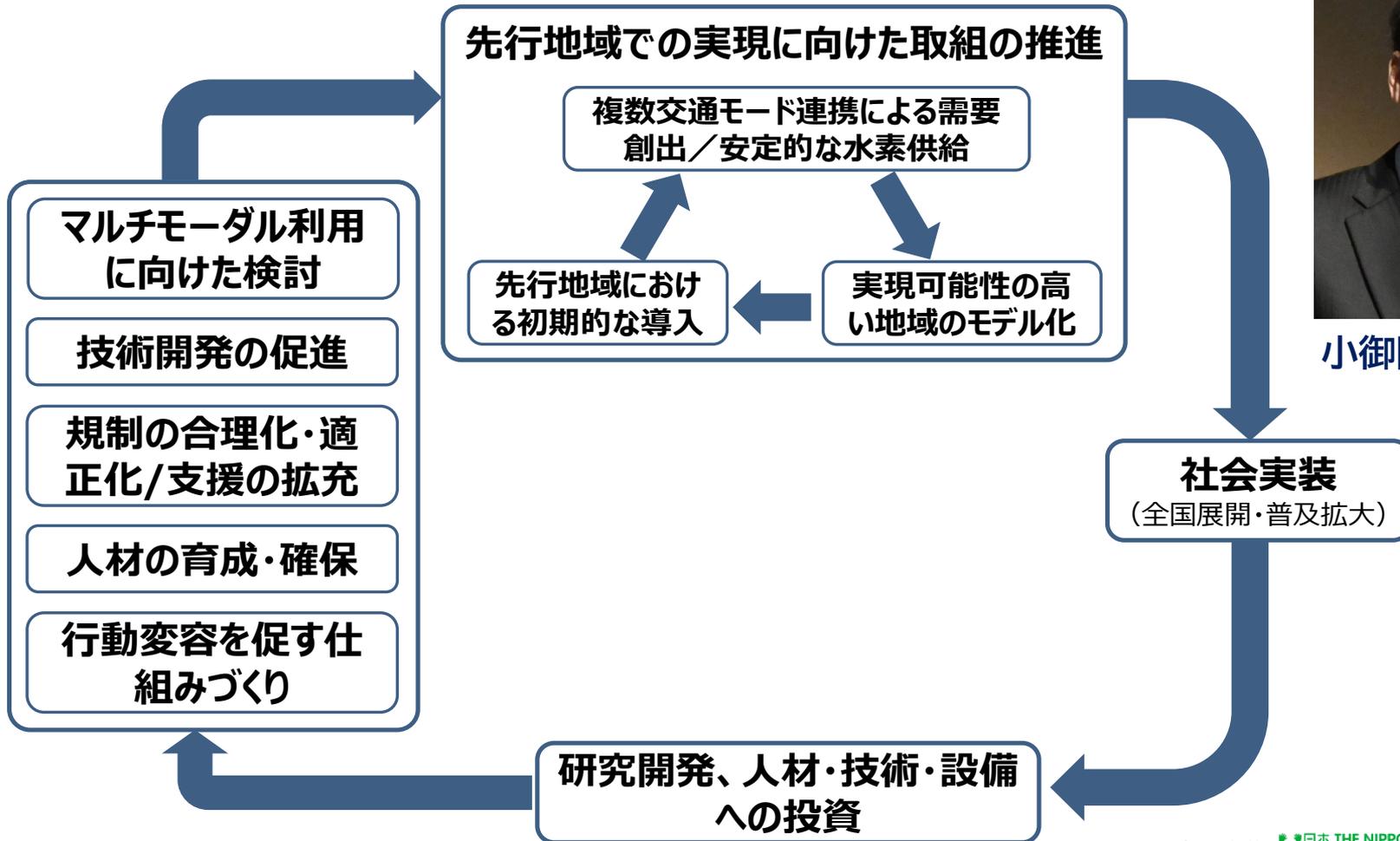


## 『水素の利活用による交通分野の脱炭素化 ～地域から未来をつなぐ脱炭素への道～』

(2025年3月4日)

### <まとめのポイント>



小御門和馬研究員

### <提言の柱>

①交通モード横断のロードマップ策定

②インセンティブと規制による燃料転換の促進

③輸送機器・エネルギーの供給体制構築

④交通事業者の脱炭素コストの負担低減

⑤利用者のスコープ3排出量の削減促進

⑥利用者・社会の理解と行動変容促進



谷口正信研究員

(2025年6月13日)

## <概要>

バス・タクシー・鉄道における自動運転化の普及および加速に向けた具体的な対応策について提言を行うとともに、自動運転がもたらす将来の交通像などに関するディスカッションを実施する

### 【基調講演】「自動運転社会の実現に向けて(仮)」

竹中 由紀夫 日本バス協会会長補佐、伊予鉄バス株式会社代表取締役専務取締役  
川鍋 一郎 全国ハイヤー・タクシー連合会会長、日本交通株式会社取締役

### 【研究報告】「運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化」

長谷川 稜 研究員 渡邊 洋輔 研究員

### 【パネルディスカッション及び質疑応答】

モデレーター 須田 義大 東京工科大学教授、片柳研究所未来モビリティ研究センター長

パネリスト 竹中 由紀夫 日本バス協会会長補佐、伊予鉄バス株式会社代表取締役専務取締役

浅井 康太 株式会社みちのりホールディングスグループディレクター

川鍋 一郎 全国ハイヤー・タクシー連合会会長、日本交通株式会社取締役

大東 明 東武鉄道株式会社鉄道事業本部技術統括部車両部長

久保田 秀暢 国土交通省物流・自動車局次長

小木津 武樹 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター准教授

平栗 滋人 前 鉄道総合技術研究所研究開発推進部JR部長

(現 日本信号株式会社次世代交通インフラ推進室理事)

### <概要>

地域交通産業の抜本的かつ包括的な基盤強化・事業革新を可能とする、法制度等  
地域交通制度の革新案を緊急提言として報告するとともに、地域交通産業の現場  
の視点から地域交通制度の革新案についてディスカッションを行う。

【来賓挨拶】 水嶋 智 国土交通省 国土交通審議官

【提言報告】 「地域交通制度の革新案(緊急提言)」

城福 健陽 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員

【パネルディスカッション】

### ■コーディネーター

宇都宮 浄人 関西大学 経済学部 教授

### ■パネリスト

仮井 康裕 広島電鉄株式会社 代表取締役社長

小嶋 光信 両備グループ代表 兼 CEO、一般財団法人地域公共交通総合研究所 代表理事

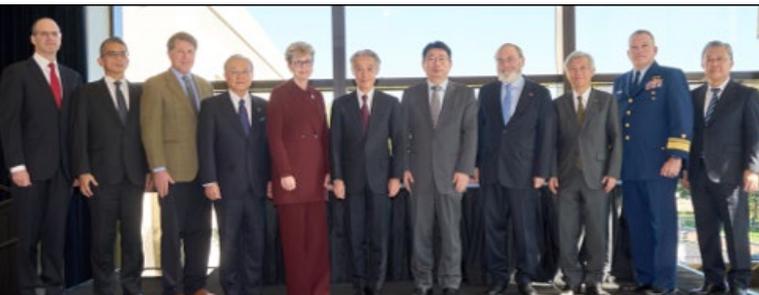
松本 順 株式会社みちのりホールディングス 代表取締役会長

松本 義人 西日本鉄道株式会社 副社長執行役員 自動車事業本部長

城福 健陽 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員

# 経済安全保障のための シーレーンの安全確保と サプライチェーンの強靱化 シンポジウム2024

(2024年10月、ワシントンD.C.開催)



## 経済安全保障のためのシーレーンの安全確保と サプライチェーンの強靱化シンポジウム2024

運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所・ジョーンズホプキンス大学ライシャワー東アジア研究センター 共催

近年、経済のグローバル化が進捗し、各国の経済活動はシーレーンへの依存度を高めている一方で、南シナ海・東シナ海における一部の国家による拡張的な海洋権益主張や、ロシア・ウクライナ戦争による黒海の航路地域化、紅海での非国家主体による民間船舶襲撃など、シーレーンに対する様々なリスクが顕在化しています。四方を海に囲まれた日本は、エネルギー、鉱物資源、食料などの主要な物資の貿易をほぼ100%国際海上輸送に依存しており、海運業は基幹インフラとして重要視されています。米国も同様に、海運業の経済安全保障が強化されています。このように、日米両国は、シーレーンの安全確保を国家の生存に不可欠な要素と認識し、豪州、インド、欧州、韓国などの同志国と連携し、東南アジアや大洋州の島嶼国への能力向上支援や共同訓練を通じてシーレーンの安定を追求し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた努力を続けています。本シンポジウムでは、日米首脳会談やG7交通大臣会合の成果を踏まえ、日米両国や海事・海上保安当局、産業界が直面する課題を明らかにし、シーレーンの安全確保とサプライチェーン強靱化に向けた取り組みについて、産官学の有識者を招いて講演・議論を行います。

### 歓迎挨拶

### 開会挨拶

### 来賓挨拶

### 基調講演



ケント・カルダー  
ジョーンズホプキンス大学  
高等国際問題研究大学院  
ライシャワー東アジア研究  
センター長



宿利 正史  
運輸総合研究所/  
ワシントン国際問題研究所  
会長



山田 重夫  
米国駐前日本国  
特命全權大使



アン・フィリップス  
米国運輸省  
連邦海事局長



寺田 吉道  
国土交通省  
国土交通審議官  
(国際担当)

### パネルディスカッション①

昨今のシーレーンを巡る安全保障情勢及び海洋の安全確保と秩序維持

### パネルディスカッション②

海事産業におけるサプライチェーン確保の課題と対策



石井 昌平  
前海上保安庁長官  
国土交通省参事



ウェイン・R・アーガイン・Jr.  
米国沿岸警備隊  
長官補 (予防政策担当)



モデレーター  
ジェフリー・F・グレッシャム  
米国国防大学教授



林 光一郎  
日本郵船株式会社  
調査グループ  
グループ長



ヘンリー・ヌズム  
Waterman  
Logistics社長



アン・フィリップス  
米国運輸省  
連邦海事局長



寺田 吉道  
国土交通省  
国土交通審議官  
(国際担当)

日時：(日本時間)2024年10月18日(金)4時00分～7時00分  
(現地時間)2024年10月17日(木)15時00分～18時00分(～レセプション)  
場所：米風ワシントンDC(Johns Hopkins SAIS)オンラインのライブ配信も併用  
言語：日英同時通訳  
※シンポジウムの様子については、事前申込を頂いた方向けに先行録画配信も行う予定です。

詳細&登録  
はこちら



# 日米国際航空シンポジウム 2025 ～日米ASEANの連携で拓く 航空コネクティビティの 未来～

(2025年3月、  
ワシントンD.C.開催)



Official Participating Event of the 2025 National Cherry Blossom Festival

航空需要は新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響から着実に回復し、回復が遅れていたアジア・太平洋地域でもコロナ前の状況への回復が見込まれています。一方で、地政学的緊張が高まる中、同地域における航空コネクティビティの強化は、地域の経済的繁栄のみならず、国際社会の持続可能な成長と安定の確保に繋がり、経済安全保障上も重要な課題となっています。また、パンデミック以降、アジア・太平洋地域の二大国間の航空便が制限される中、日本はアジア・ASEANと米国を結ぶ重要なハブとしての役割を一層強化しています。さらに、日米含むアジア・太平洋地域では、増加する航空需要に対応するため、空港インフラの整備や航空管制技術の向上、そして人材の確保が急務であり、環境負荷の軽減を含む持続可能性の確保も不可欠です。シンポジウムでは、このような状況を踏まえ、日米政府当局及び航空・空港会社、ASEAN域内国の関係者が参加し、アジア・太平洋地域の航空コネクティビティ強化をテーマに、具体的な協力方を議論します。

### 開会挨拶



宿利 正史  
運輸総合研究所/  
ワシントン国際問題研究所  
会長

### 来賓挨拶



山田 重夫  
米国駐劄日本国  
特命全權大使

### 基調講演



ヘイディ・ゴメス  
米国国務省  
次官補代理(運輸)



中山 理映子  
国土交通省  
大臣官房審議官(航空)



シンディ・バラバン  
米国運輸省  
航空・国際関係担当  
次官補代理

### パネルディスカッション①

アジア太平洋地域における航空ネットワークの強化



シンディ・バラバン  
米国運輸省  
航空・国際関係担当次官補代理



田村 明比古  
成田国際空港(株)  
代表取締役社長



スティーブン・モリッシャー  
ユナイテッド航空  
バイスプレジデント  
(国際規制・政策担当)



小山 雄司  
日本航空(株)  
執行役員、経営企画本部長

### モデレーター



ナヴィーン・ラオ  
代表取締役  
H4 Advisors LLC



ヤップ・オン・ハン  
シンガポール運輸省  
顧問



中山 理映子  
国土交通省  
大臣官房審議官(航空)



ロンス・アーモンド  
アメリカン航空  
マネージングディレクター  
(国際政府渉外担当)



山田 重夫  
日本運輸(株)  
上席執行役員  
航空・国際担当



ボブ・レッテニー  
デルタ航空  
バイスプレジデント  
(国際政府渉外・政策担当)

### パネルディスカッション②

アジア太平洋地域における航空課題への対応

日時:(日本時間)2025年3月27日(木)4時00分～7時00分  
(現地時間)2025年3月26日(水)15時00分～18時00分(～レセプション)  
場所:米国防務省DC(ロナルドレーガンビル&国際貿易センター) オンラインのライブ配信も併用  
言語:日英同時通訳  
※シンポジウムの様子については、事前申込を頂いた方向けに先行録画配信も行う予定です。

詳細&登録  
はこちら



# 国土交通省・カリフォルニア州運輸省 共催

## 日米鉄道脱炭素フォーラム（2025年5月21日、ロサンゼルス開催）

プログラム:

【冒頭挨拶】 トックス・オミシャキン カリフォルニア州運輸長官  
田中 由紀 国土交通省国際統括官(ビデオ・メッセージ)  
小林 伸行 国土交通省鉄道局国際課長  
曾根 健孝 在ロサンゼルス日本国総領事  
奥田 哲也 一般財団法人運輸総合研究所  
専務理事・ワシントン国際問題研究所長  
アン・バロウズ 全米日系人博物館 館長兼CEO



奥田 哲也  
専務理事



小御門和馬  
研究員

【パネルディスカッション1】 政府と民間セクターの鉄道脱炭素化戦略

国土交通省、カリフォルニア州交通局(Caltrans)、日立レール 登壇者名(略)

【パネルディスカッション2】 旅客及び貨物鉄道における代替燃料(水素・蓄電池等)の活用

<モデレーター> Anthony Serna カリフォルニア州運輸省 Rail and Transit Policy Advisor

<パネリスト> Tyson Eckerle カリフォルニア州経済促進知事室(GO-Biz) Senior Advisor

中野 智行 国土交通省鉄道局技術企画課長

Michelle Stewart カルトレイン Director of Grants and Funding Management

Victor Lopez サンバーナーディーノ郡交通局 Director of Transit and Rail Programs

Mike Hart シエラ・ノーザン鉄道 CEO

小御門 和馬 一般財団法人運輸総合研究所 研究員

【パネルディスカッション3】 高速鉄道、地域における公共交通指向型都市開発(TOD)

カリフォルニア高速鉄道局、コンサルタント、トランスベイ・ジョイント・パワーズ・オーソリティ、  
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、積水化学工業株式会社、東急電鉄株式会社 登壇者名(略)

【閉会挨拶】 チャド・エジソン カリフォルニア州運輸省筆頭副長官

# 運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所 物流シンポジウム

## 『フィリピンにおける効率的な物流の構築を目指して

### ～海ASEANにおける物流の改善～ (パート1) 』(2025年2月19日、

開催地:マニラ)



**参加無料!**

運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所  
物流シンポジウム

### フィリピンにおける効率的な物流の構築を目指して

～海ASEANにおける物流の改善～ (パート1)

2025年 2月19日(水)

シンポジウム

9:30-13:00 (日本時間)  
8:30-12:00 (フィリピン時間)

会場: Dusit Thani Manila

ランチレセプション(会場・立食)  
12:00-13:30 (フィリピン時間)

オンラインにて同時配信  
(日英同時通訳)



主 催: フィリピン運輸省、(一財)運輸総合研究所 アセアン・インド地域事務所  
後 援: 在フィリピン日本国大使館、フィリピン日本商工会議所

ASEANの物流改善は自由で開かれたインド太平洋の実現という観点から極めて重要であり、JTTRI-AIROでは、2022年6月及び2023年6月の2回にわたり、タイを事例とし、いわゆる「陸ASEAN」の物流改善に向けた課題と解決策の提案を行うシンポジウムを実施した。その後、JTTRI-AIROでは、「海ASEAN」の物流改善に向けた研究調査を行っており、本シンポジウムにおいては、島嶼国であるフィリピンの物流改善に向けた課題と解決策を議論する。輸送モード間の結節性の向上、ICTの活用、物流関係者間の協力の充実・強化等の観点及び首都圏港湾の一体的機能強化の観点から課題解決に向けた研究成果の発表を行うとともに、有識者との議論を通じ、フィリピンにおける効率的な物流の構築等に向けた改善策、さらには周辺諸国及び日本との間の物流ネットワーク強化の戦略を語る。

**お申込み**

右記のQRよりお申し込みください。  
※お申し込みいただいた方には、別途視聴用URLをご送付いたします。

**お問合せ**

(一財)運輸総合研究所  
アセアン・インド地域事務所  
E-mail: info-airo@jttri-airo.org



【会場参加】



【オンライン参加】

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

## プログラム

<b>日本時間</b>	<b>フィリピン時間</b>		
9:30 - 9:40	8:30 - 8:40	<b>開会挨拶</b>	<b>宿利 正史</b> 一般財団法人 運輸総合研究所 会長 
9:40 - 10:05	8:40 - 9:05	<b>来賓挨拶</b>	<b>Jaime J. Bautista</b> フィリピン共和国 運輸大臣  <b>遠藤 和也</b> フィリピン駐前日本国 特命全権大使 
10:05 - 10:45	9:05 - 9:45	<b>基調講演</b>	<b>Elmer Francisco U. Sarmiento</b> フィリピン共和国運輸省 海事担当次官  <b>寺田 吉道</b> 国土交通省 国土交通審議官(国際担当) 
10:45 - 11:15	9:45 - 10:15	<b>研究報告</b>	<b>富田 晃弘</b> 運輸総合研究所 アセアン・インド 地域事務所 次長  <b>高島 稔</b> 運輸総合研究所 アセアン・インド 地域事務所 研究員 
<b>休憩</b>			
11:35 - 12:55	10:35 - 11:55	<b>パネルディスカッション及び質疑応答</b>	
		<b>モデレーター</b>	<b>Mary Jean Pacheco</b> フィリピン共和国貿易 産業省サブライチエーン・ 物流担当次官  <b>Marc Anthony D. Dizon</b> フィリピンコールドチェーン協会 テクニカルコンサルタント 兼 Fast Cold Chain Solutions, Inc. オペレーション担当副社長補佐 
		<b>柴崎 隆一</b> 東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 准教授  <b>中山 重義</b> NX Logistics Philippines Inc. 社長 兼 Nippon Express Philippines Corp. 営業開発部長 	<b>Alan Kiel Irlanda</b> K Line Logistics Philippines Inc. 副社長 
12:55 - 13:00	11:55 - 12:00	<b>閉会挨拶</b>	<b>Timothy John R. Batan</b> フィリピン共和国運輸省 計画担当次官 

### ランチレセプション



**Dusit Thani Manila  
Mayuree Grand Ballroom**

Ayala Centre, 1223 Makati City  
Metro Manila, Philippines

電話番号: +63 (2) 7238 8888



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION